



# 歴史文化の魅力を発信！歴まちカード

桐生市 都市計画課・甘楽町 建設課

歴史文化遺産を生かしたまちづくりを進める都市の魅力発信しようと、国土交通省関東地方整備局は、関東甲信13都市の「歴史まちづくりカード」を作成しました。

群馬県内では桐生市と甘楽町でカードを受け取ることができます。

## ■ 歴史と伝統が織りなすまち 桐生市

桐生市では、平成30年1月に地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づく「桐生市歴史的風致維持向上計画」を作成し国からの認定を受けました。桐生市の「歴まちカード」は、360年の歴史と伝統を誇る桐生祇園祭の勇ましい神輿渡御で、まさに桐生を代表する「魅せる風景」である歴史的風致を取り上げました。裏面には、写真の解説やその他の「いい景色」である歴まちスポット等を掲載し、桐生の魅力を発信しています。配布場所は、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区のほぼ中央に位置する「伝建まちなか交流館」となっています。カードを片手に、桐生の歴史ある町並みをゆっくり散策してみたいかがでしょうか。

今後も、歴まちカードを一つのツールとして、桐生を訪れていただけるよう本市の歴史まちづくりについて積極的な発信をしていきます。



桐生市「歴まちカード」



桐生新町重伝建地区のまち並み



甘楽町「歴まちカード」



往時の姿を残す雄川堰と桜並木

## ■ 名水流れる織田宗家ゆかりの城下町 甘楽町

甘楽町の歴史的風致は、名勝「楽山園」を核として、城下町の風情を伝える武家屋敷や明治期の養蚕農家建造物と住民の生活に溶け込んだ「雄川堰」とが造る町並みを舞台に、この地域に住む人々の営みとして受け継がれる小幡八幡宮例大祭、笹森稻荷神社祭礼などの伝統的行事、多様な石積みの文化と瓦製造やこんにゃく栽培などの産業とが一体となって形成されているものです。同計画においては「小幡城下町地区(207ha)」を重点地区と定め、歴史資産、資源を保存・活用しながら町の活性化を図ることを目的として、多くの来訪者に甘楽町の歴史的風致に触れていただくため、まちなかの回遊性向上を図る「歩きたくなるまち小幡」の整備を行ってきました。

甘楽町のカードは、国指定名勝「楽山園」の写真を採用し楽山園番所と甘楽町役場で配布しています。カードは甘楽町に来ないと手に入らないため、多くの方に町へ訪れていただき、歴史を直接感じて欲しいと思っています。

